

ZANDEN Model 120 の展開(92) ーベーターヴェンを聴き直す(27)ー

1. 始めに

前報(91)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

また、TruPhase のヴォリュームに、ヴォリュームアキュライザーの導入(2)で報告したヴォリュームアキュライザーVRA-7 を適用しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの交響曲第 6 番を選定しました。

CBS WX-1-C

交響曲第 6 番へ長調作品 68 「田園」

ブルーノ・ワルター指揮コロンビアシンフォニー

Victor SHP-2084

交響曲第 6 番へ長調作品 68 「田園」

ピエール・モンロー指揮ウイーンフィル

これらのうちモンロー盤は、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(46\)](#)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

ワルター盤は、Columbia、逆相、第 4 時定数 Low で聴いて行きます。

この盤は、以前のシリーズで聴き逃していたものです。同じワルターの演奏である、英雄や運命と違って、この曲の牧歌的で流麗な表情を的確に表現しており、実に気持ちよく聴けます。

モントー盤は、EMI、逆相、第 4 時定数 Low で聴いて行きます。

モントーらしく、実におだやかで、ほのぼのとした演奏です。盤質はよくありませんが、ウイーンフィルの弦や木管の美しい音色も楽しめます。

4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入、さらに、VRA-7 の効果も加わって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上